

- 自ら考える力
- 信頼する心
- 健やかな体

校長着任のあいさつ

4月1日付けで若宮中学校長として着任いたしました小峰 大吾(こみね だいご)と申します。坂戸市で最も生徒数の多い若宮中学校の校長を拝命し、その重責に身が引き締まる思いでいっぱいです。坂戸市の西半分のほぼすべてを占める広い学区内から通学する生徒たちの安全を確保し、子供たちの未来で必要とされる力を高めるべく、職員とともに若宮中学校の教育に誠心誠意取り組んでまいりますので、保護者・地域の皆様のご指導とご鞭撻をお願いいたします。



校長の学校教育に対する思い

学校は「将来、子ども達が自己実現するための力をつける場」

小中の9年間(義務教育)を通じて、社会に出ていける力の基礎を養わなくてはならない。

そのために児童生徒に養いたい力は

① 基礎基本(今も昔も変わらない)

学ぶべきことは学び、身に付けるべきことは身に付ける

② 応用力(これからの時代を主体的に生きるために必要とされる力)

自分が身に付けた知識を活用して、課題を解決する方法を身に付ける
応用を通じてなぜ学ぶのかが意識でき、生涯学習につながる

③ 人間性・コミュニケーション力(人として生きていくために必要な力)

周囲と友好的な関係を築く力を身に付ける。自力で解決できない時、周囲に助けを求めることができる

※生徒一人ひとりの現状に合わせ、それぞれの力を向上させることを目指したい

このような考えのもと、若宮中学校の学校経営に取り組んでまいります。すでに最初の職員会議にて職員にもこの考えを伝え、この考えに基づき日々の教育活動に取り組むよう指示をいたしました。学校教育は何を行うにも、ご家庭と地域の協力がなければ成立しません。ご支援・ご協力をお願いいたします。



入学式式辞より(抜粋)

今日から始まる中学校生活は、義務教育の最後の三年間であり、人生の中での大きな分岐点に向かって自らの力を高めていく大切な三年間です。

小学校の次は中学校へ進学、どこそこに住んでいるから若宮中学校という決められた道があり、自動的に決まってしまうのはここまでです。三年後、皆さんは、自分の進む道を自分で決め、それぞれの道を自分で歩みださなくてはいけない時を迎えます。

だからこそ、中学校の三年間は大切であり、これからの三年間をどう過ごすかで、皆さんの人生は大きく変わっていくこととなります。ここからの毎日の積み重ねで、一人一人の将来が大きく違っていくのです。そのことをまず自覚してください。

そして、三年後、義務教育を終え、旅立ちの時を迎えたときに、自信をもって自らの進路を進めるように、これからの中学校生活を充実させてください。本校を卒業する時、「若宮中学校に来て良かった」「若宮中学校で学んだことを誇りに思う」と実感できる、そんな三年間にできるよう、先輩方や先生方と共に頑張っていきましょう。



生徒数及び学級数（4月8日現在）

	1年生	2年生	3年生	特別支援	合計
生徒数	188	194	192	23	574
学級数	5	5	5	4	19



転出入職員の紹介

《転・退職職員》お世話になりました！	《転入職員》よろしくお願いします！
公表は 控えさせて いただきます。	公表は 控えさせて いただきます。

令和7年度教職員

公表は控えさせて いただきます。

公表は 控えさせて いただきます。

～～～ お知らせ ～～～



坂戸市より、今年度から教材費補助がなされるとの連絡がありました。現段階ではその詳しい手続きや時期、補助対象などの詳細が不明です。わかり次第ご連絡いたします。